

令和5年度 農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち
農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型)
事業実施主体 評価一覧

1. 事業評価の実施

令和5年度に実施された「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)のうち農山漁村発イノベーション推進事業(地域活性化型)」の事業について、「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)」別記1の第4の2の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 事業評価結果の総括

令和5年度に交付金事業を実施した北海道内の3地区について、取組の実施状況、成果等を総合的に評価した。
その結果、優良と認められる地区が3地区との評価結果となった。

3. 各地区の評価結果

3件

農政局等	都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階								評価	評価コメント
				R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
本省	北海道	当別町	亜麻のふるさと当別活性化協議会				●	●	○ □			A	計画どおりに組織された事業実施体制により、計画に基づく取組が実施されるとともに、計画に定められた目標を達成していることから、総合的に優良であると認められる。地域資源である亜麻を核とした新たな経済循環の構築に向け、今後も取組を継続し、目標達成に努められたい。
本省	北海道	岩見沢市	北村地域イノベーション推進協議会					●	○	○ □		A	計画どおりに組織された事業実施体制により、計画に基づく取組が実施されるとともに、計画に定められた目標を達成していることから、総合的に優良であると認められる。住民参加型の取組実施による地域の人材育成とコミュニティのさらなる強化・発展に向け、今後も取組を継続し、目標達成に努められたい。
本省	北海道	栗山町	くりやま地域活性化協議会					●	○	○ □		A	計画どおりに組織された事業実施体制により、計画に基づく取組が実施されるとともに、計画に定められた目標を達成していることから、総合的に優良であると認められる。農の多様なライフスタイルの発展による益々の地域活性化に向け、今後も取組を継続し、目標達成に努められたい。

(注1) 「事業実施段階」の凡例: ソフト対策 ○・・交付対象年度(計画) ●・・交付対象年度(実施済) □・・目標年度(計画) ■・・目標年度(実施済)
ハード対策 ☆・・交付対象年度(計画) ★・・交付対象年度(実施済) ◇・・目標年度(計画) ◆・・目標年度(実施済)
重点指導 ▼・・重点指導(通知) △・・重点指導(結果報告予定) ▲・・重点指導(結果報告)

(注2) 「評価」の区分: A・・優良 B・・良好 C・・低調 評価対象外・・評価対象外

4. 第三者機関の意見聴取

「農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策)実施要領(令和4年4月1日付け3農振第2921号農林水産省農村振興局長通知)」別記1の第4の2の規定に基づき、第三者機関である「農山漁村振興交付金(都市農村交流等)評価委員会」を組織し、評価に当たり意見の聴取を行った。評価委員会の委員及び開催概要は以下のとおり。

【評価委員会 委員】

委員長: 大江靖雄(東京農業大学教授)
委員: 市田知子(明治大学教授)、加藤由紀子(北海商科大学非常勤講師)、木村宏(北海道大学客員教授)、森久美子(作家・拓殖大学北海道短期大学客員教授)

【令和6年度評価委員会の開催概要】

第1回評価委員会
1 日 時 : 令和6年7月26日(金) 9:00～15:00 2 場 所 : 農村振興局第5会議室(web会議併用) 3 出席委員: 大江委員長、市田委員、加藤委員、木村委員、森委員 4 議事概要 ① 令和6年度評価対象地区の評価方法について 本年度の評価方法について、説明を行い了承を得た。 ② 令和6年度評価対象地区の評価及び取組状況について 令和5年度に事業を実施した3地区の、取組概要、評価案に関して説明し、質疑応答を行った。 5 主な意見 なし。
第2回評価委員会
1 日 時 : 令和6年8月23日(金) 13:00～14:30 2 場 所 : 農村振興局第5会議室(web会議) 3 出席委員: 大江委員長、加藤委員、木村委員、森委員 4 概 要 ・第1回評価委員会における質問への回答及び評価結果案 令和5年度に事業を実施した3地区の評価案等に関して、了承を得た。 5 主な意見 なし。